

株式会社日浦金物（岩見沢市）

ものづくりの喜びを体験できる環境のため
よりよい教育用機器・設備を現場に届ける

社長の思い

子供たちにもものづくりの喜びを体験できる教育現場を提供したい。
偏差値も大切だが、ものづくりを通してはじめて勉強できることがある。
実学を大切にすることは、将来のいい仕事につながる。

企業概要・背景

昭和13年、先代が金物店として開業。ノコギリの目立てなどの技術を有し、中学校の技術科で使用する生徒用大工道具セットの販売、メンテナンスを手掛け、先生たちの信用を得る。昭和57年、現社長のもとで法人化。大学に協力した技術科の実習教材の開発支援や、技術室、工作室、理科室など特別教室の設備、備品の導入提案、販売を行っている。

活用した強み・とらえた機会

[強み]

金物店としての技術から出発し、地元
の学校や教育大学との接点を活用した。
道内各地の先生たちからの信頼とネット
ワークを築いている。

[機会]

学校の改修や改築の際に、教育委員会
が学校に対して聴取する各種要望や計画
に対して、現場の先生たちが苦慮してい
ることを知り、トータルな提案書を提出。
現在の事業の中心となるきっかけに。

先進性・独創性・特徴

小中高、特別支援学校などの特別教室
について、レイアウト、手配、導入後の
メンテナンスまでをトータルに支援。

「天板の表裏両面を使用できる工作台」
は、平成20年度北海道地方発明表彰で
発明奨励賞受賞。北海道から新商品トラ
イアル制度の認定を受けており、道の随
意契約制度を活用可能である。

発明した新商品については、実用新案、
意匠登録など知的財産保護を図りながら
事業展開している。

今後の展望

関東圏や関西圏からの問い合わせも増えており、ナラなどの道産材を使って、道内で製作したものを道外へ販売していきたい。木のぬくもりの感じられる工作台等は情操教育にも良いと思う。現場の先生たちのニーズを聞きながら、さらによりよい教育用機器や設備を開発していきたい。

事業所データ

代表者	日浦 務
業 種	製造業（教育用設備機器）
創 業	昭和13年（昭和57年法人化）
所在地	岩見沢市4条西8丁目2番地
電 話	0126-22-1709
URL	http://www14.ocn.ne.jp/~hiuracom/

